

いま、新しい  
公共を考える!



# どうなる学校統廃合? 大阪市の条例を考える ～適正配置?規模?跡地活用?～

主催:自治体政策研究会 / 共催:自治フォーラムおおさか

2020年2月15日(土)  
18:00~20:00(受付開始17:30)

大阪経済法科大学 OUEL 研究センター 5F  
(大阪市天王寺区船橋町 2-2)鶴橋駅北へ 200m)

話題  
提供者

武田 緑 氏(教育コーディネーター)  
金谷 一郎 氏(大阪経済法科大学 客員教授)  
入口 嘉憲((株)UDコンサルタンツ専務)  
武 直樹 氏(自治フォーラムおおさか 共同代表)

参加費

500円(資料代)

定員

30名(要申込)

要申込  
定員  
30名

1月15日の総合教育会議で、大阪市の学校統廃合の条例案が提案されました。

子どもの減少が大きかった中央・北区では、学校が統廃合されてきましたが、容積率が緩和されタワーマンションが建設されたいま、中央・北・西区では、教室不足の地域も出ています。

学校選択制より都市計画の歪みが子どもの偏在に拍車をかけている。インナーシティ問題の放置が環状線の外側の小規模化に拍車をかけているという指摘もあります。

とはいえ、小規模校の弊害も大きく、現状維持でなく、人口減少の中で行政区単位や校区の再編も避けられないものになりつつあります。

11学級以下の小規模校が統廃合の対象となる条例ですが、基準は妥当か?どちらの校地を活用するか?登下校の安全配慮は?保護者・住民の声の反映は?跡地活用スキームは?市教委・区役所の役割分担は? などなど、みなさんといっしょに 課題を出し合う機会にしたいと思います。

武田 緑 氏



学校の総合拠点化  
事例から

金谷 一郎 氏



大阪市の条例に  
ついて

入口 嘉憲 氏



学校を中心とした  
まちづくり

武 直樹 氏



生野区西部地区の  
再編計画の現状と課題

## 申込方法



Web・FAXのどちらかで  
お申し込みください。

- ・ Webの方は、<https://form.os7.biz/f/91785aa8/>よりお申し込みください
- ・ FAXの方は【第15回自治フォーラム申込】と記載し、①氏名②連絡先(電話番号)をお伝えください。  
※会場の都合もあり、事前申込にご協力ください。

## 連絡先

自治フォーラムおおさか

住所: 大阪市生野区巽南1-2-3

電話: 06-6753-6714

FAX: 06-6563-1159【申込専用】

Mail: [lg.forum.osaka@gmail.com](mailto:lg.forum.osaka@gmail.com)

Blog: <http://lgforumosaka.seesaa.net/>